

飛翔 人権通信 7月

人権教育・啓発通信：「飛翔」
発行：那賀川中学校
(No.4) 2026(令和8)年7月17日(金)
文責：人権教育主事 中岡 和也

7月に入り、ますます暑い日が続いていますが、那賀川中生のみなさんは汗をいっぱいかきながらも授業や部活動に一生懸命取り組むことができていますね。4月から7月の間を振り返って、「これは頑張った」と思えることや、「これはダメだった」と反省することはありますか。頑張れたところは、しっかり自分自身を褒め、ダメだったところはこれから気を付けて生活していきましょう。

7月10日(金)に校内人権意見発表会が行われました。一人一人が思いのこもった人権作文を発表してくれました。みなさんのおかげで人権問題についてより深く考えることができました。

9月から差別やいじめをなくすために人権学習に真剣に取り組み、自分の知識やできることを増やし、行動していきましょう。



◇ 令和8年度 校内人権意見発表会を終えて

7月10日(金)に校内人権意見発表会を行いました。学年代表の生徒が身近にある人権課題や自分自身の実体験などさまざまな視点で発表することができていました。また、作文の発表を聴いて感想を書いたり、意見を発表したりする時間を設け、より深まりのある校内人権意見発表会となりました。

人権作文をみんなの前で勇気をふり絞って発表してくれたことに感謝しています。仲間の発表を聴いて意見を述べてくれたみなさんにも「ありがとう」と言いたいです。みんなの前で意見を述べられなかったけど、発表を聴いて感想を一生懸命書いている姿にも感謝しています。みなさんのおかげで実り多い、校内人権意見発表会となり、大変幸せな時間を過ごすことができました。「ありがとう」

学 級	代表者名	題 名
1 A	田中 佑芽 さん	『自分で見た外国人差別』
1 B	岩本 悠月 さん	『私は私』
2 C	木村 凜桜 さん	『夫婦別姓と女性の人権』
2 C	泰地 雅斗 さん	『外国人の偏見』
3 A	立石 佑葵乃さん	『決めつけないことの大切さ』
3 B	山本 京 さん	『高齢者の人権について』

私は、偏見などをもたないようにしようと思いました。また、差別をなくす行動をしていきたいと思いました。自分がされて嫌なことは絶対にしないようにしたいです。
(1年 白濱 奏 さん)

僕は、代表者6人の発表を聴いて、このことを他人ごとではなく、自分ごととして受け止め、これからの学校生活に生かしていきたいです。
(1年 湯浅 晴真 さん)

差別やいじめは、すべて「偏見」から始まっていることに気づき、一人一人の人権に対する考えや思いが世界を変える第一歩なんだということがわかりました。
(1年 春野 結衣 さん)

6人の作文すべてが心にささりました。そのなかでも、私は偏見についてすごく考えさせられました。なぜかという、たった少しの偏見でも相手を傷付けてしまうことにつながると知ったからです。無意識のうちもあるけど、それを言い訳にせず、努力してなくしていくことが大事だと思いました。これからもっと平和になっていくように私も頑張ろうと思います。

(2年 田渕 里桜奈 さん)

全員がちがう視点から人権を考えていて、みんなの前で思いを発表しているのはすごいと思いました。今回の発表を聴いてさらに人権について考えていきたいです。
(2年 上田 健翔 さん)

障がいや性別、年齢などの偏見や差別が多いと思いました。だから、私たちが人権問題を知ってなくしていきたいです。一人一人を理解し合いたいです。
(3年 笠谷 瑠花 さん)

